

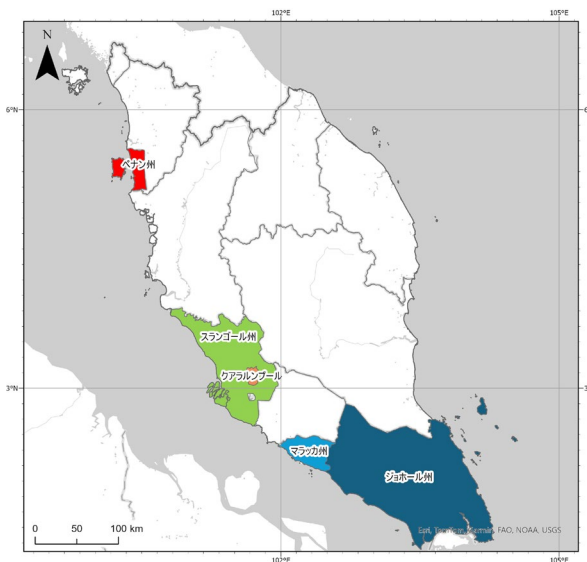
【研究課題名】

マレーシアペナン州における持続可能な流域開発に向けた環境正義の実現

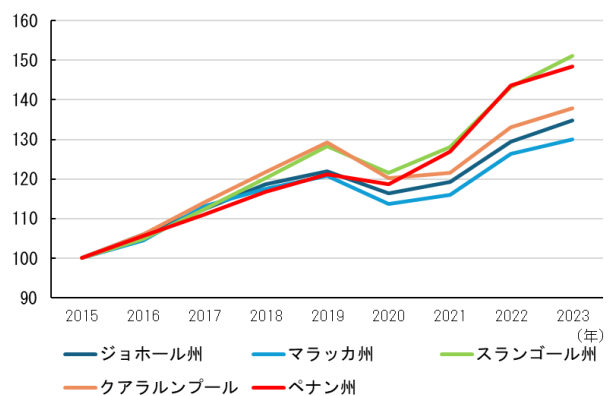
【研究概要】

近年、東南アジア諸国（特にマレーシアなど）では、著しく経済開発が進展する一方、自然環境の破壊や社会的公正の問題が発生しています。本研究は、マレーシアペナン州の漁村を対象に、経済開発が自然環境の破壊や社会的公正にどのような影響を及ぼし、地域がどのように変容しているのかを明らかにします。特に、河川の上流域で行われている農地開発や都市開発が、下流域の漁村に居住する漁民の生活に与える影響に着目し、環境正義の視点を用いて分析し、その結果をもとに持続可能な流域開発のための解決策を検討します。本研究は行政や漁民などへの聞き取り調査や、地域の景観観察といった人文社会科学的な手法を基盤としています。加えて、水質調査という自然科学的な手法も組み込み、環境正義の枠組みから総合的に考察する点に独自性があります。

本研究の成果として、マレーシアの事例を分析することで、日本が今後、後発途上国に対して経済開発と環境保全の両立を考慮した開発支援をする際の参考になり、政策立案への貢献が期待されます。また、研究成果を地理教育の教材にすることで、生徒が経済開発・環境保全・社会的公正の両立について学ぶ機会を提供し、持続可能な開発を考える力の育成に寄与することが期待されます。



ペナン州の位置



実質経済成長率

注) 2015 年を 100 とみたときの値で算出

(Department of Statistics Malaysia により作成)



河川の下流域の状況

(2018 年 8 月 5 日五十嵐撮影)